

地域で活躍する
脳血管内治療医たち
神奈川県藤沢市

脳卒中センターをオーブン、 脳血管内治療や内視鏡手術も強化

湘南藤沢徳洲会病院

脳卒中治療に 集中できる体制を構築

神奈川県藤沢市にある湘南藤沢徳洲会病院は今年2月、「脳卒中センター」を開設した。文字通り、脳卒中の治療に特化した施設だ。脳血管外科（今年2月に脳神経外科から独立）や脳神経外科、総合内科などの関連診療科が協力し、チーム医療を行う。



脳血管外科部長
脳卒中センター長

溝上 康治

日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医
日本脳神経血管内治療学会認定脳血管内治療専門医

「私は脳神経外科医ですが、脳血管内治療専門医でもあります。そこで、私のスキルを有効活用し、地域のニーズに応えるため、脳卒中の治療に集中できる

体制にしました」。溝上医師は、「クリッピング術（開頭手術）を150例以上（※1）行うなど、脳血管障害の手術を数多く手がけてきた。今年に入ってから、すでにくも膜下出血など脳動脈瘤関連の手術も14例（※2）ほどこなしている。「脳動脈瘤コイル塞栓術」といった脳血管内治療、脳血管の内視鏡手術にも力を入れている。

「私は、患者さんのメリットを最大化することを常に考えています。例えば、脳血管内治療は、体への負担が小さくても、合併症が起こると重篤な後遺症を残したり致死的原因となったりすることもあり、また再発を起こすこともありますので、安全性と完成

脳血管外科部長を兼務する脳卒中センター長の溝上康治医師は、こう説明する。「脳血管障害の治療法としては、開頭手術などの直達手術だけでなく、カテーテル治療などの低侵襲な脳血管内治療のウエイトが高まっています。当院のある湘南東部医療圏は、脳卒中の医療機関が少なく、中でも脳血管内治療ができる施設が限られています。

「私は、患者さんのメリットを最大化することを常に考えています。例えば、脳血管内治療は、体への負担が小さくても、合併症が起こると重篤な後遺症を残したり致死的原因となったりすることもあり、また再発を起こすこともありますので、安全性と完成

度から直達手術のほうがよいと判断した場合は、そちらをお勧めします。手術は体への負担が大きいです。脳血管内治療ではできないことができるメリットもあり、それぞれの特徴を生かして治療に臨んでいます。もちろん外科治療が必ずしも有効ではないと判断した場合は経過観察をお勧めすることもあります」

現在、脳卒中センターの専任医師は溝上医師一人だが今後、組織を拡充する。SCU（脳卒中専門病棟）を設け、24時間体制の治療トリハピリを行う考えだ。「AVM（脳動脈奇形）などに対しては、手術と脳血管内治療を組み合わせたハイブリッド手術にも取り組みたい」と、溝上医師は抱負を語る。なお、脳血管外科では、急性期脳卒中のほか、外科的な脳卒中予防治療にも力を入れている。未破裂脳動脈瘤や頸動脈狭窄・閉塞病変、頭蓋内血管奇形、もやもや病や硬膜動脈静脈瘻などいわゆる脳血管障害全般にも対応している。

度から直達手術のほうがよいと判断した場合は、そちらをお勧めします。手術は体への負担が大きいです。脳血管内治療ではできないことができるメリットもあり、それぞれの特徴を生かして治療に臨んでいます。もちろん外科治療が必ずしも有効ではないと判断した場合は経過観察をお勧めすることもあります」

現在、脳卒中センターの専任医師は溝上医師一人だが今後、組織を拡充する。SCU（脳卒中専門病棟）を設け、24時間体制の治療トリハピリを行う考えだ。「AVM（脳動脈奇形）などに対しては、手術と脳血管内治療を組み合わせたハイブリッド手術にも取り組みたい」と、溝上医師は抱負を語る。なお、脳血管外科では、急性期脳卒中のほか、外科的な脳卒中予防治療にも力を入れている。未破裂脳動脈瘤や頸動脈狭窄・閉塞病変、頭蓋内血管奇形、もやもや病や硬膜動脈静脈瘻などいわゆる脳血管障害全般にも対応している。

INFORMATION

〒251-0041
神奈川県藤沢市辻堂神台1-5-1

TEL.0466-35-1177 (代表)

診療科目：脳血管外科ほか
外来診療日（予約制）：
火午前・木午前（21日を除く）

<http://fujisawatokushukai.jp/>

※1 2005年4月～14年3月

※2 2014年1月～14年3月



地域の中核病院としての役割を担う
湘南藤沢徳洲会病院



広々とした手術室も完備されている